

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
サイキ イツウ 齋木 逸造	男	1871 1957	武里村	北杜市	『山梨百科事典』	社会科学	政治家。 1899(明治32)年、甲斐新聞をおこして社長となり、そのうち甲府市会議員と県会議員を歴任。 1927(昭和2)年県会議長、1935(昭和10)年甲府市長となった。 1955(昭和30)年甲府市名誉市民。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』 (山梨日日新聞社、p327) 『郷土史にかがやく人々第15集』 (青少年のための山梨県民会議、p117~148) 肖像あり 『武川村誌上巻』 (武川村、p397~398) 『武川村誌下巻』 (武川村、P544)	2024/11/7	むかわ
サイグサ サエコ 三枝 佐枝子	女	1920 2023	甲府市	甲府市	『やまなし・女性の文学』 「山梨日日新聞」	文学	編集者・評論家。 1946年中央公論社入社。 1973年商品学科学研究所所長。 1984年山梨県立総合婦人会館館長、県教育委員を兼務。 (『やまなし・女性の文学』) 生家は甲州財閥の若尾家。日本女子大卒。「婦人公論」編集長、同社編集局長を務め退職。評論家として活躍する傍ら、山梨県立総合婦人会館の初代館長、商品学科学研究所長なども務めた。東京都在住。(「山梨日日新聞」)	『日本の母たち』(中央公論社、1973) 『共働きの人間学』(阪急コミュニケーションズ、1980) 『これから女性はどう生きるか』(講談社、1984) 『女が一生、仕事を上手に続けていく法』(三笠書房、1991) ほか	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p14~17) 『山梨日日新聞』(2015.7.29、1面、顔写真あり、2023.2.4、31面、顔写真あり)	2024/9/19	甲府
サイグサ ヲユキ 三枝 昂之	男	1944 	甲府市	甲府市	「山梨日日新聞」 『山梨県人物・人材情報リスト2023』	文学	歌人。 歌会始選者、短歌誌「りとむ」発行人。山梨県立文学館館長。日本歌人クラブ会長。 『昭和短歌の精神史』でやまなし文学賞、斉藤茂吉短歌文学賞、野口賞などを受賞。 他作品でも様々な賞を多数受賞。 2011年紫綬褒章授与。 2021年旭日小綬章受章授与。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 2020年4月歌集「遅速あり」で第54回逕空賞を受賞。 2020年5月日本歌人クラブ名誉会長となる。 2021年旭日小綬章授与 2022年『音を聴く近代短歌の水脈』日本歌人クラブ大賞受賞 (山梨日日新聞)	『昭和短歌の精神史』(本阿弥書店、2005) 『甲州百目』(砂子屋書房、1997) 『歌人の原風景』(本阿弥書店、2005) 『こころの歳時記』(山梨日日新聞社、2006) 『それぞれの桜』(現代短歌社、2016) 『遅速あり』(砂子屋書房、2019) 『音を聴く近代短歌の水脈』(六花書林開発社、2021) 『夏は来ぬ 詩歌を楽しむ』(青磁社、2022) 『ことばの木もれ日』(山梨日日新聞社、2023) 『佐佐木信綱と短歌の百年』(KADOKAWA、2023) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p333~334) 『シリーズ牧水賞の歌人たちVol.8三枝昂之』(青磁社、2017) 『山梨日日新聞』(2008.1.1、特集105面、顔写真あり、2016.6.10、15面、顔写真あり、2019.6.21、13面、顔写真あり、2020.4.16、20面、顔写真あり、2021.10.28、16面、顔写真あり、2021.11.3、6面、顔写真あり、2022.4.21、11面、顔写真あり、2021.11.3、6面、顔写真あり、2023.5.17、10面、顔写真あり)	2024/9/19	甲府
サイグサ ヒロキ 三枝 浩樹	男	1946 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2023』	文学	歌人。 本名、三枝亨。 植松寿樹、植田多喜子に師事。 兄・昂之とともに短歌誌「りとむ」を創刊。短歌結社「沃野」代表。県歌人協会会長。 2016年第52回短歌研究賞受賞。 2018年歌集「時禱集」で第22回若山牧水賞、第52回逕空賞を相次いで受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 2018年11月県文化賞・特別賞受賞 (山梨日日新聞)	『朝の歌』(反措定出版局、1975) 『三枝浩樹歌集』(砂子屋書房、1987) 『歩行者』(砂子屋書房、2000) 『八木重吉たましひのスケッチ』(ながらみ書房、2011) 『時禱集』(KADOKAWA、2017) 『黄昏(クレブスキュール)』(現代短歌社、2020) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2021、p334) 『山梨日日新聞』(2016.6.8、15面、顔写真あり、2018.7.1、51面、2020.9.4、9面、顔写真あり) 山梨県HP(山梨いまじん) https://www.pref.yamanashi.jp/koucho/tv/ima190410.html (2019.4.4更新顔写真あり)(2024.9.19確認)	2024/9/19	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
サイトウ ソウマ 斉藤 杜馬	男	1991 	山梨県	山梨県	『声優さんになりたいっ!』	芸術・ス ポーツ	声優。 2008年、第2回81オーディションで優秀 賞を受賞。ゲーム『剣と魔法と学園モ ノ。2G』で声優デビュー。 2015年、第9回声優アワード新人男優 賞を受賞。 (『声優さんになりたいっ!』) (『山梨日日新聞』) シンガーソングライターとしても活躍し、 2022年に第16回声優アワードの歌唱賞 を受賞。 (『休むヒント。』)	『健康で文化的な最低限度の生活』 (KADOKAWA、2018) 『本にまつわるエトセトラPHOTOBOOK』 (双葉社、2019) 『休むヒント。』(群像編集部編、講談 社、2024)	『声優さんになりたいっ!』(講談社、 2014、p7~11) 『日経エンタテインメント』2018年3月号 (日経BP社、p93~94、顔写真あり) 『アニメージュ』2018年8月号(徳間書 店、p50~53、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2016.1.3、31面、 2019.1.15、9面写真あり) 『cut』2022年5月号(ロッキングオン、p8 ~29、顔写真あり) 『Hanako』2021年4月号(マガジンハウ ス、p111~115、顔写真あり) 『Cut』2023年10月号(ロッキングオン、 p88~93) 『休むヒント。』(講談社、2024、p66~ 73) 『spin』第1~3、5~8号(河出書房新社)	2024/9/10	県立
サイトウ ダイゾウ さいとう 大三	男	1949 	八田村	南アルプス市	『八田村村制施行40周年記念村 政要覧』	芸術・ス ポーツ	「てんとう虫のサンバ」、「傷だらけの ローラ」などの作詞。 日本作詞家協会常務理事。 (『八田村村制施行40周年記念村政要 覧』)		『八田村村政施行40周年記念村政要 覧』(八田村役場、1996、p20、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(1998.10.18、14面、 1991.2.2、19面)	2024/11/13	八田
サイトウ タクシ 齊藤 武士	男	1943 	増穂町	富士川町	『甲州魚風土記』 『山梨日日新聞』 『齋藤武士展』 『山梨県立美術館蔵品総目録 2』 『山梨県新人選抜展 第4回』	芸術・ス ポーツ	版画家。 1943年増穂町生まれ。 1983年日本版画協会準会員賞受賞 (『山梨県新人選抜展 第4回』) 2014年文化功労者、2016年地域文化 功労者に選ばれる。 山梨美術協会、副会長、会長などを歴 任。 1984年クラクフ国際版画ビエンナーレ ポーランド)で最高賞を受賞 1977年~県出身・在住の芸術家グルー プ「ルイユ」で活動。 やまなし県民文化祭美術部門専門委員 長など県内美術文化への新興、発展に 尽力した。 (『山梨日日新聞』)	『甲州魚風土記』(寺田重雄著、芸文 社、1980、奥付) 『山梨日日新聞』(2008.1.11、9面、顔写 真あり、2007.7.22、19面、顔写真あり、 2014.11.13、24面、顔写真あり、 2014.12.12、15面、顔写真あり、 2016.12.8、24面、2018.10.3、13面) 『山梨県立美術館蔵品総目録 2』(山梨 県立美術館、1989、p96) 『山梨県新人選抜展 第4回』(山梨県立 美術館、1990、p16) 山梨県立美術館収蔵品データベース作 者データ&資料一覧 https://jmapps.ne.jp/yamanashimuse/sakka_det.html?list_count=10&person_id=325 (2024.9.19確認)	2024/9/19	甲府	

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
サイトウ マサキ 齊藤 政喜	男	1961 	長野県	長野県	『シェルバ齊藤の山小屋24時間 滞在記』	芸術・ス ポーツ	紀行作家であり、地球を歩いて旅する バックパッカー。 1990年に東海自然歩道を踏破する紀行 文を雑誌『BE-PAL』に連載。 山岳ガイドの代名詞であるシェルバを冠 した「シェルバ齊藤」のペンネームにな る。以降、アウトドア雑誌を中心に紀行 エッセイを長期連載中。 1995年に八ヶ岳山麓に移住し、自らの 手で家を作り、自己完結型の田舎暮らし を楽しむ。著作は30冊を超える。 (『シェルバ齊藤の山小屋24時間滞在 記』)	『犬連れバックパッカー』(小学館、 1998) 『シェルバ齊藤の世界10大トレイル』(山 と溪谷社、2012) 『シェルバ齊藤の八ヶ岳生活』(地球丸、 2012) 『シェルバ齊藤の遊歩見聞録』(小学 館、2020) 『シェルバ齊藤の親子旅20年物語』(産 業編集センター、2021) 『あるとき僕は—シェルバ齊藤の青春 記』(しなのき書房、2023) ほか	『シェルバ齊藤の山小屋24時間滞在記』 (山と溪谷社、2024) 『山梨県人物・人材リスト2023』(日外ア ソシエーツ、2022、P334) シェルバ齊藤のHP https://team- sherpa.wixsite.com/sherpa (2024.11.13 確認)	2024/11/13	たかね
サイトウ ヨシヒロ 齋藤 芳弘	男	1926 	白根町	南アルプス市	『新甲斐風土記』	歴史・地理	山梨時事新聞編集局次長、山梨新報社 社長ほか。 (『新甲斐風土記』)	『甲府城物語』(テレビ山梨、1973) 『甲州財閥物語』上下(テレビ山梨、 1988) 『新・甲斐国誌』全5巻(テレビ山梨、 1988) 『新編甲州財閥物語』(山梨新報社、 2000) 『新甲斐風土記』(齋藤芳弘、2010) 『湖水伝説、「なまよみ」など』(齋藤芳 弘、2012) ほか	『新甲斐風土記』(齋藤芳弘、2010、 p337)	2024/10/4	白根
サエグサ ウンタイ 三枝 雲岱	男	1811 1901	蔵原村	北杜市	『山梨百科事典』	芸術・ス ポーツ	南宋画家。 本姓は小野。14歳の時、蔵原村三光山 宝原寺の三枝氏の養子となる。 甲府の画家竹村三陽に師事。 1880年明治天皇巡幸の際、2図を献 納、賞を賜る。 1900年皇太子嘉仁親王のご成婚には 図を献納、賞詞を賜る。 八幡神社、比志神社の祠官となる。 「甲州文庫」に「習字手本」がある。 (『山梨百科事典』)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p411、顔写真あり) 『郷土史にかがやく人々11集』 (青少年のための山梨県民会議、 1981、p77~103)	2024/11/13	たかね	
サエグサ シチナイ 三枝 七内	男	1837 1912	野牛島村	南アルプス市	『山梨百科事典』	社会科学	初代中巨摩郡長を務める。 私立勸業試験場を設立、農業の改良、 森林の培養など、殖産事業に尽力。 (『山梨百科事典』)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1972、p331) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日 外アソシエーツ、2018、p60、p173) 『郷土に尽した人々』(清水小太郎、 1976、p7) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』(齊 藤俊章、青少年のための山梨県民会 議、1980、p275~288顔写真あり) 『八田村誌』(八田村、1972、p330~ 332) 『中巨摩郡誌』(山梨県中巨摩郡聯合教 育会、東京名著出版、1977、第十三編 人物・褒章誌p50)	2024/11/13	八田	

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
サエグサ センエイ 三枝 善衛	男	1890 1971	穂坂村	韮崎市	『韮崎市誌』	歴史・地理 社会科学	教育者。 1912年～1919年、穂坂・穴山・韮崎・塩 崎各小学校で教職をとった後、家業を 継ぐために教職を退く。 穂坂地内に20か所の埋蔵文化財包蔵 地を確認・研究。 朝穂堰・穂坂堰・楯無堰・徳島堰の研 究。(『韮崎市誌』)	『徳嶋堰』(徳島堰組合、1959)	『韮崎市誌・下巻』(韮崎市、1979、 p438) 『水の大切さを伝え遺した三枝善衛』(韮 崎市ふるさと偉人資料館、2018)	2025/1/11	韮崎
サエグサ ヨサブロー 三枝 与三郎	男	1843 1911	岡部村	笛吹市	『石和町誌2』	産業	実業家 「ギンザのサエグサ」創業者 (『石和町誌2』)		『石和町誌2』(石和町、1991、p357～ 360)	2024/11/8	石和
サカモト キヨタネ 坂本 清胤	男	1901 1993	日野春村	北杜市	『遠い空』	社会科学	日野春村(現北杜市長坂町)向井家に 生まれる。 1925年、甲府中学を卒業後、日野春小 学校の代用教員となる。 教え子たちと児童雑誌「赤い鳥」に積極 的に投稿。 その後、山梨大学、韮崎高校、峡北高 校等で教え、高校教諭退職後、駒沢大 学、英和短大等で古典を講じる。 1942年、坂本増次郎の養子になり、坂 本姓となる。 (『遠い空』)	『遠い空』(坂本清胤、1986)	『坂本清胤(1907-1993)『赤い鳥』と北 杜の人びと』 (浅川伯教・巧兄弟資料館、2016、p50) 『遠い空』 (坂本清胤、1986、p218-228) 『柳南の本』 (長坂町郷土資料館、2002、p20) 『「赤い鳥」における山梨県児童詩教育』 (溝口克己、1989、p46-48) 『「赤い鳥」と山梨の作文教育』(溝口克 己、1999、p91-97)	2024/11/1	ながさか
サカモト 効オ 坂本 高雄	男	1933 	若草町	南アルプス市	『山梨の草葺民家』 「山梨日日新聞」	技術 歴史・地理	山梨郷土研究会員 山梨県文化保護指導委員(建造物) 2008年、教育功労者表彰 (『山梨の草葺民家』『山梨日日新聞』)	『山梨の草葺民家』(山梨日日新聞社出 版局、1994)	『山梨の草葺民家』(山梨日日新聞社出 版局、1994、奥付) 「山梨日日新聞」2008.11.5、4面顔写真 あり	2024/11/12	上野原
サカモト タシ 坂本 孝	男	1940 2022	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2015』 『俺のイタリアン、俺のフレンチ』	産業 社会科学	ブックオフコーポレーション創業者、俺 の株式会社名誉会長。 慶應義塾大学卒業。 精麦会社・坂本産業に入社。 いくつかの自営業を経て 1990年ブックオフコーポレーションを創 業。 2006年会長に就任。 2007年退任。 2011年新橋に「俺のイタリアン」をオー プン。 (『山梨県人物・人材情報リスト2015』) 「俺の株式会社」名誉会長 (「俺の株式会社」)	『ブックオフの真実』(日経BP社、2003) 『俺のイタリアン、俺のフレンチ』(商業 界、2013) 『俺のフィロソフィ』(商業界、2014)	『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日 外アソシエーツ、2014、p112) 『俺のイタリアン、俺のフレンチ』(坂本 孝、商業界、2013、奥付) 「山梨日日新聞」(2013.6.17、1面、顔写 真あり) 「俺の株式会社」 (http://www.oreno.co.jp 、2024.11.25確 認) 「山梨日日新聞」(2022.1.28、27面)	2024/11/25	竜王
サカモト チャン 坂本 ちゃん	男	1966 	塩山市	甲州市	『山梨日日新聞』	芸術・ス ポーツ	タレント (「山梨日日新聞」)	『カミングアウト』(日本テレビ放送網、 2001)	「山梨日日新聞」(2002.5.13、4面)	2025/2/28	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
サカモト トクイチ 坂本 徳一	男	1926 2008	宮城県 仙台市	宮城県 仙台市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』 『山梨日日新聞』	歴史・地理	歴史評論家、郷土史家。 日本文芸家協会、山梨郷土研究会などの 会員。 山梨日日新聞社文化部長、編集局次 長、論説委員を歴任。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『甲府の歴史』(東洋書院、1982) 『天の試練に生きる』(西山巖、1990) 『武田信玄100話』(坂本徳一編、立風 書房、1987) 『武田二十四将伝』(新人物往来社、 1980) 『武田信玄合戦記』(新人物往来社、 1975) 『写真集 明治大正昭和 甲府』共編(国 書刊行会 日本写真印刷コミュニケー ションズ、2022) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2023、p220~221、 335) 『山梨日日新聞』(2008.4.18、23面)	2024/9/20	甲府
サカモト マサシ 坂本 政史	男	1982 -	蕪崎市	蕪崎市	『社長がボケた。事業承継はどう する?』	社会科学	税理士・公認会計士。 早稲田大学卒業後、大手監査法人、税 理士法人勤務を経て、義父が創業した 税理士事務所の後継者となる。 。事業承継にクラウドファンディングを活 用する等、様々な角度から同じ境遇に 立つ後継者を支援。『近代セールス』に 多数寄稿。全国紙新聞社主催セミ ナー、大学主催のマネジメントスクール 他にて、税務の枠を超えたセミナーを多 数行う。『社長がボケた。事業承継はど うする?』	『社長がボケた。事業承継はどうす る?』(中央経済社、2020)	『社長がボケた。事業承継はどうす る?』(中央経済社、2020、奥付)	2024/11/1	蕪崎
サカモト マスジロウ 坂本 増次郎	男	1876 1943	高根町	北杜市	『坂本増次郎先生顕彰記念誌』	社会科学	八ヶ岳開発の先望者。 1908年、平等尋常高等小学校長 1915年、七里尋常高等小学校長 1921年、甲府市春日尋常高等小学校 長 1929年、琢美尋常高等小学校長 1931年、世界教育会議に日本代表とし て出席。甲斐八ヶ岳会創設、会長就 任。 1943年、67歳で腸がんにて死去。 1944年、日本教育会、日本青年協会、 甲斐八ヶ岳会協同主催にて記念碑建 立。 (『坂本増次郎先生顕彰記念誌』)	『花衣』(坂本増次郎、1938) 児童誌『活児童』(編集、1901) 『女教員論』(柳正堂書店、1929)	『坂本増次郎先生顕彰記念誌』 (坂本増次郎先生遺徳顕彰会1965) 『坂本増次郎(1876-1943)』(浅川伯教・ 巧兄弟資料館・2016)	2025/1/24	たかね
サカマ ジロウ 佐久間 二郎	男	1972 -	甲府市	甲府市	佐久間二郎能の会「三曜会」	芸術・ス ポーツ	1998年9月、観世宗家より観世能楽師と しての認定を受ける。 1999年、「能楽入門講座花のみちしる べ」を開講。 2005年4月、甲府「武田神社」にて、同 神社史上初の「薪能」を開催、上演。地 元・山梨に於いて、能楽の普及に努め る。重要無形文化財総合認定保持者。 山梨県立大学非常勤講師。 社団法人・「観世九草会」所属。能楽協 会会員。謡曲・仕舞「観世流富士の会」 主宰。 (佐久間二郎能の会「三曜会」)		佐久間二郎能の会「三曜会」HP https://www.sanyoukai.com/ (2024.9.20 確認) 三曜会X: https://x.com/sanyokai_noh (2024.9.20確認) 佐久間二郎能の会三曜会YouTube <a href="https://www.youtube.com/channel/UC
ToSsJiQpH97hpWPpn0XshQ">https://www.youtube.com/channel/UC ToSsJiQpH97hpWPpn0XshQ (2024.9.20 確認)	2024/9/20	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
クライ トヨシ 櫻井 孝美	男	1944 	埼玉県	埼玉県	『山梨県人物・人材情報リスト 2013』	芸術・ス ポーツ	洋画家、了徳寺大学芸術学部教授。 1972～1982年自由美術展に出品。その 他、山梨美術協会展協賞(1984年)、 東京セントラル美術館油絵大賞展大賞 (1985年)、昭和会展昭和会賞(1987 年)など受賞歴多数。1988年、富士吉 田市文化功労賞受賞。2000年フランス のシャモニー、パリで海外初個展を開 催。(『山梨県人物・人材情報リスト 2013』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日 外アンジェーツ、2012、p415～416) 「山梨日日新聞」(2006.8.9、16面)	2024/12/27	富士吉田
ササキ マリコ 佐々木 満里子	女	1933 	満州大連市	中国	『平成伊呂波歌留多道子2』	社会科学 文学	1999年～国際建設会長。 山梨社会保険協会理事。 (『ポストモーターム』) 2010年旭日双光章受章。 (「山梨日日新聞」) 2013年日本エッセイ・クラブ会員。(『平 成伊呂波歌留多道子2』)	『ポストモーターム』(中央公論事業出版、 2003) 『道子』(中央公論事業出版、2006) 『平成伊呂波歌留多道子2』(中央公論 事業出版、2016)	山梨日日新聞(2016.5.27、12面、顔写 真あり) 『平成伊呂波歌留多道子2』(中央公論 事業出版、2016、奥付に著者略歴あり)	2024/9/20	甲府
ササモト ケンジ 笹本 健次	男	1949 	甲府市	甲府市	『昭和40年頃の山梨の鉄道追 想』 「山梨日日新聞」	産業	日本交通公社出版事業局を経て、1976 年に趣味関連の出版社ネコ・パブリッ シングを創業。 2014年に常盤ホテル社長に就任。 湯村温泉旅館協同組合理事長、甲府競 光開発社長を務める。 (「山梨日日新聞」)	『6×6で撮影した都電の面影』(ACJマ ガジンス、2020) 『昭和40年頃の山梨の鉄道追想』(ACJ マガジンス、2020) 『私が撮影したC56七尾線・飯山線・小 海線・越後線を中心として』(ACJマガジ ンス、2020) 『昭和40年代の直流電気機関車の活 躍』(ACJマガジンス、2021) 『私が撮影した機関区と機関車』(ACJ マガジンス、2021) 『軽便の四季』(ACJマガジンス、2023) 『私が撮影した機関区と機関車 続編』 (ACJマガジンス、2023) ほか	「山梨日日新聞」(2020.9.4、18面、写真 あり、2021.1.4、21面写真あり、 2023.7.29、16面、写真あり、 2024.11.29、7面、写真あり) 『昭和40年代の直流電気機関車の活 躍』(ACJマガジンス、2021、あとがき [p122.123])	2024/9/10	県立
ササモト ショウジ 笹本 正治	男	1951 	敷島町	甲斐市	『実録・戦国時代の民衆たち』 『武田信玄と松本平』	歴史・地理	信州大学名誉教授。 日本中世史、日本近世史専攻。 歴史学博士。 1991年野口賞(郷土研究部門)受賞。 (『山梨県人物・人材リスト2023』) 2021年より、長野県立歴史館館長。 (『土石流と水害』)	『戦国大名武田氏の信濃支配』(名著出 版、1990) 『山梨県の武田氏伝説』(山梨日日新聞 社、1996) 『武田信玄』(ミネルヴァ書房、2005) 『実録・戦国時代の民衆たち』(一草舎 出版、2006) 『軍師山本勘助語られた英雄像』(新入 物往来社、2006) 『武田信玄と松本平』(一草舎、2008) 『鳴動する中世怪音と地鳴りの日本史 読みみなおす日本史』(吉川弘文館、 2020) 『土石流と水害 伝承・地名・防災』(高志 書院、2022) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アンジェーツ、2022、p221) 「山梨日日新聞」(2001.8.29、12面、写 真あり、2005.2.25、10面、写真あり、 2007.1.5、13面、写真あり、2007.1.6.17 面、写真あり、2022.11.25、11面、写真 あり) 『土石流と水害 伝承・地名・防災』(高志 書院、2022、奥付) 「信州大学研究者総覧」http://soar- rd.shinshu- u.ac.jp/profile/ja.WUmgUAU.html (2024.9.10確認)	2024/9/10	県立

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
サカ 柊 流石 奉	男	1913 1994	勝山村	富士河口湖町	『勝山村史下巻』	歴史・地理	郷里に伝わる「勝山記」の考証に、晩年をかけて調査。元本を正写して「勝山記」の真価を高めた。 (『勝山村史下巻』)	『妙本寺縁起考』(1976、流石奉) 『小湖拾遺記』(1979、流石奉) 『勝山記と原本の考証』(国書刊行会、1985) 『甲斐源氏と源平合戦』(1980、流石奉)	『勝山村史下巻』(勝山村役場、1999、p.630)	2024/12/28	富士河口湖
サウ セイイチ 佐藤 精一	男	1922 2004	山梨市	山梨市	『詩集目隠し』	文学	元教員。 1953年から「時間」同人。 1970年第五回北川冬彦賞受賞。 (『詩集目隠し』)	詩集『目隠し』(時間社、1972) 詩集『楽屋の鏡』(土曜美術社出版販売、1993、国立国会図書館ほか所蔵) 『詩誌 中央山脈15』(山梨市、1998)	『詩集目隠し』(時間社、1972、奥付)	2024/11/24	山梨
サウ シアキ 佐藤 俊明	男	1948 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2004』	技術	エコプロデューサー。 日本ナチュロック(株)代表取締役社長。 コンクリートと天然石を複合させた“ナチュロック”を開発。溶岩を使った製品の開発や研究なども多数手がける。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』)	『川は生まれ変わるか』(プレジデント社、2001) 『癒しの溶岩園芸』(日本放送出版協会、2002) 『溶岩革命』(プレジデント社、2011)	『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p175) 「日本ナチュロック株式会社ホームページ」 http://www.naturorock.co.jp/ (2024.12.27確認)	2024/12/27	富士吉田
サウ ハチロウ 佐藤 八郎	男	1909 2004	韮崎町	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2000』 「甲斐」第110号	歴史・地理	郷土史家。 甲府中学校から山梨師範学校専攻科を卒業、猿橋小学校などで教鞭をとる。 1965年に双葉西小学校校長を最後に退職後、山梨県立図書館郷土資料室に勤務し、「甲州文庫」の整理など郷土史研究に専念。17年かけ「甲斐国史」の校訂を行う。 1978年、野口賞、勲五等双光旭日章、山梨県文化功労賞等を受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2000』) (「甲斐」第110号)	『甲斐地名考』(山梨郷土研究会、1977) 『韮崎市誌』(韮崎市、1978) 『武田信玄とその周辺』(新人物往来社、1979) 『山梨県の漢字碑』(1998)	「甲斐」第110号(山梨郷土研究会、2006) 『山梨県人物・人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p173)	2024/11/1	韮崎
サウ マサキ 佐藤 正明	男	1941 	甲府市	甲府市	『佐藤正明展』 『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	美術家。ニューヨーク在住。 甲府・芸術の森公園にザ・「ビック・アップルNo.45」がある。 第25回野口賞受賞。 2017年、ポストン・プリントメーカーズの名誉会員に日本人では初選出。 作品に「サブウェイ」「ニュースタンド」シリーズがある。 (『山梨日日新聞』) (『佐藤正明展』)	『佐藤正明展』(山梨県立美術館、1990) 「山梨日日新聞」(2007.7.27、11面、顔写真あり、2017.4.14、11面、顔写真あり、2018.3.17、13面、顔写真あり、2022.12.6.24面、顔写真あり) 『佐藤正明研究』(筑波大学大学院日本美術研究室、2015) 山梨県立美術館収蔵品データベース作者データ&資料一覧 https://jmapps.ne.jp/yamanashimuse/sakka_det.html?list_count=10&person_id=413 (2024.9.20確認)	2024/9/20	甲府	

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
サウ マサキ 佐藤 真樹	男	1936 	大和村	甲州市	『ぶどう園の詩季』	芸術・スポーツ	カメラマン 佐藤真樹写真スタジオ経営 (『ぶどう園の詩季』) 『JPS・日本写真家協会ホームページ』	『ぶどう園の詩季』(山梨日日新聞、1993) 『ぶどうの四季』(甲陽書房、1983) 『わがむら』(甲陽書房、1983) 『わがむらの記録』(著者出版、2014) 『わがむらの記録Ⅱ 笹子トンネル3000m物語』(著者出版、2014) 『上条・昭和の記録』(著者出版、2015) 『いま昔昭和と平成』(著者出版、2016) 『国宝柏尾山大善寺』(大善寺、2018) 『青雲寺』(著者出版、2019) 『景德院』(著者出版、2020) 『勝頼の道』(著者出版、2021) 『フランスぶどう畑の便り』(著者出版、2024) 『やまなしの葡萄畑』(著者出版、2024)	『ぶどう園の詩季』(山梨日日新聞、1993 p120、顔写真あり) 『ぶどうの四季』(甲陽書房、1983 奥付2p前、顔写真あり) 『わがむら』(甲陽書房、1983 奥付) 『上条・昭和の記録』(著者出版、2015 奥付) 『いま昔昭和と平成』(著者出版、2016 奥付) 『国宝柏尾山大善寺』(大善寺、2018 奥付) 『青雲寺』(著者出版、2019 奥付) 『景德院』(著者出版、2020 奥付) 『勝頼の道』(著者出版、2021 奥付) 『フランスぶどう畑の便り』(著者出版、2024 奥付) 『やまなしの葡萄畑』(著者出版、2024 奥付)	2024/10/31	大和
サウ マサミ 佐藤 眞佐美	男	1939 2009	北海道	北海道	『栄光ふたたび』 「山梨日日新聞」	文学	児童文学者。 1973年『マンガの世界』で北川千代賞受賞。 山梨学院短期大学講師、山梨文芸家協会、やまなし県民文化祭文学部専門委員、日本児童文学者協会監事、山日文芸児童文学選者。 2008年山梨県文化賞奨励賞受賞。 (『栄光ふたたび』、「山梨日日新聞」)	『ぼくらは地底王国探検隊』(ポプラ社、1982) 『シレットクのシルバー』(草炎社、1995) 『甲斐むかし話の世界』(山梨ふるさと文庫、1997) 『山梨学院大学箱根駅伝物語』(山梨ふるさと文庫、1993) 『栄光ふたたび』(山梨ふるさと文庫、1994) ほか	『栄光ふたたび』(山梨ふるさと文庫、1994、奥付) 「山梨日日新聞」(2008.11.16、21面)	2024/12/28	市川三郷
サノ シロウ 佐野 四郎	男	1898 1988	万沢村	南部町	『富沢町誌』	文学	歌人 歌集『コスモスの歌』選者 勲六等瑞宝章(『富沢町誌下巻』)	『杉の花粉』(佐野四郎、朝日書房、1934) 『峡嵐集』(佐野四郎、白玉書房、1964) 『白雲集』(佐野四郎、柏葉書院、1972) 『湖畔の薄』(佐野四郎、伊麻書房、1978) 『富士と笹』(佐野四郎、伊麻書房、1984) 『蠟梅』(佐野四郎、伊麻書房、1987)	『コスモスの歌コスモス叢書第559編』(終書房、1998、短歌30首収録) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p192~194) 『富沢町誌下巻』(富沢町役場、2002、p414)	2024/12/3	南部
サノ タツミ 佐野 辰巳	男	1936 	南部町	南部町	『南部町誌』 『改定南部町誌』	歴史・地理		『湖底に沈んだ村「天子湖」』(佐野辰巳、2020) 『井出の寺子屋教育を支えた寺院教育と南岡先生の足跡』(佐野辰巳、2021) 『南部町井出村』(佐野辰巳、2023)	『弓ひとすじに学ぶ 飛躍する心』(佐野辰巳、2024)	2024/12/3	南部
サランナ イツオ 更級 乙男	男	1925 	長野県更級郡川中島村	長野県長野市	『ふるさと双葉町の地名・歴史』	歴史・地理	元山梨県職員 1982年~財団法人山梨県産業情報センター常務理事 1987年~昭和産業㈱常務取締役 1983年~1989年、双葉町民生児童委員 1991年~双葉町文化財審議会委員 (『ふるさと双葉町の地名・歴史』)	『ふるさと双葉町の地名・歴史』(更級乙男、1991) 『江戸時代の道尾山秣場をめぐる山論』(更級乙男、1992) 『大空堰』(更級乙男、1996) 『ふるさと双葉町の地名・歴史』(更級乙男、1997)	『ふるさと双葉町の地名・歴史』(更級乙男、1991、140p) 「山梨日日新聞」1991.11.17、16面	2024/11/1	双葉

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
サンウエイ コウザ 三遊亭 小遊三	男	1947 	大月市	大月市	落語芸術協会ホームページ 『大月人物伝』	芸術・ス ポーツ	落語家。 落語芸術協会参事。 本名天野幸夫。 出生地横浜市 都留高校出身。 1968年三代目三遊亭遊三に入門。 1983年真打昇進。 1980年、2001年芸術祭優秀賞。 (落語芸術協会ホームページ、『大月人 物伝』)	『ダジャレ四季報』(徳間書店、1996) 『落語をもっとたのしもう』(日本放送出 版協会、2006)	落語芸術協会ホームページ http://www.geikyo.com(2024/11/26確 認) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株 式会社、2008、p148～151、顔写真あ り) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p196～197)	2024/11/26	大月
シオサワ キヨシ 塩沢 清	男	1928 1991	増穂町	富士川町	『山梨日日新聞』	文学	児童文学作家。 小中学校教諭として南巨摩地域の教 育・文化活動に尽力する傍ら物語を書 き始める。 1974年から2年連続で県芸術祭児童文 学部門で芸術祭賞受賞。毎日小学生新 聞懸賞小説に2度入選。第一回石森延 男賞受賞。 1977年、『ガキ大将行進曲』を発表、の ちに映画化される。(『山梨日日新聞』)	『ガキ大将行進曲』(旺文社、1978) 『五年五組の秀才くん』(ポプラ社、1982) 『愛犬バクくんはどこへいくの?』(旺文 社、1992)	『山梨日日新聞』(1999.12.17、15面、顔 写真あり、1997.4.21、11面、顔写真あ り、1992.4.27、11面、顔写真あり、 1991.5.20、10面、顔写真あり)	2024/11/29	富士川
シジョウ カコ 四條 たか子	女	1959 	南部町	南部町	『天璋院篤姫と幕末を旅する』 『世界が愛した日本』 『武豊・武幸四郎徹底分節天才 機種種の系譜』	文学	武蔵野大学人文学部日本語日本文学 専攻修士課程終了。学芸員資格取得 (美術)。 競馬週刊誌、骨董店勤務、歴史小説家 アシスタントを経て、フリーライター。 (『天璋院篤姫と幕末を旅する』)	『クラブ馬主入門ガイド:どうせ競馬をやる からには』(四條たか子、三恵書房、 1990) 『武豊・武幸四郎徹底分析天才騎手の 系譜』(四條たか子、アリアドネ企画、 1999) 『天璋院篤姫と幕末を旅する』(四條た か子、一水社、2008) 『世界が愛した日本』(四條たか子、竹 書房、2008) 『牧野富太郎と寿衛 その言葉と人生』 (四條たか子、牧野一、宝島社、2023)	『世界が愛した日本』(竹書房、2008、奥 付) 『牧野富太郎と寿衛 その言葉と人生』 (四條たか子、牧野一、宝島社、2023、 奥付)他。	2024/12/3	南部
シハラ カツキ 篠原 勝之	男	1942 	北海道札幌市	北海道札幌市	『カミサマ』 『Aアンペア』 『骨風』	芸術・ス ポーツ	絵本、舞台美術、小説、エッセイなどで 活躍し注目を集める。 1986年より“鉄のゲージツ家”としてダイ ナミックな造形を国内外で創り続けて いる。 2009年『走れUMI』第58回小学館児童 出版文化賞受賞。 2015年『骨風』第43回泉鏡花文学賞受 賞。 1994年武川町にオブジェ「風弦」の建 (『広報むかわ縮刷版』) 1995年武川町内に工房新設 (『KUMA'S』) 2009年武川町に「揺ら水」モニュメント制 作(『山梨日日新聞』)	『天外天空ゲージツ無頼帖』 (マガジンハウス、1994) 『クマさんおゲージツ日誌』 (毎日新聞、1994) 『鉄のおもいで』(講談社、1997) 『Kuma's』(平凡社、2000) 『葦草のcockピット』 (文藝春秋、2001) 『走れUMI』(講談社、2008) 『もちおもり』(講談社、2010) 『Aアンペア』(小学館、2011) 『カミサマ』(講談社、2012) 『骨風』(文藝春秋、2015) 『戯れの魔王』(文藝春秋、2018) ほか	『広報むかわ縮刷版Vol2』(武川村役 場、p248) 『KUMA'S』(平凡社2000) モニュメント「揺ら水」制作の記事 「山梨日日新聞」 (2009年5月14日11面、6月30日13面、 7月30日11面、8月13日11面、 8月15日1面24面、8月30日21面、 9月10日1面、9月13日9面、 9月23日5面) 「山梨日日新聞」(2010.8.7.11面) 「山梨日日新聞」(2018.12.12.12面) 2021年 北杜市から奈良へ移住 「山梨日日新聞」(2024.10.25.13面) 『KUMAS FACTORY https://www.kuma-3.com』(2024.11.7確 認)	2024/11/7	むかわ

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
シバタフミエ 柴田 文江	女	1965 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト 2013』	産業	工業デザイナー、DesignStudioS代表。 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科 卒。東芝に入社し、家電小型チームでド ライヤーやシェーバー等を手がける。 1994年DesignStudioS設立。カラフルで ポップなデザインに定評があり、様々な 企業の商品を手がける。エイボン芸術 賞(2006年)等受賞。、『山梨県人物・人 材情報リスト2013』)	『デザイナーへの道を知る-30人の言葉 -』(石田純子著、柴田文江述、美術出 版社、2009)	『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日 外アソシエーツ、2013年、p433) 『山梨日日新聞』(2006.12.27、11面)、 2012.7.1、40面) DesignStudioSホームページ: http://www.design-ss.com/ (2024.12.27 確認)	2024/12/27	富士吉田
シバツシ ジョウロウ 柴辻 俊六	男	1941 2022	竜王村	甲斐市	『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	歴史・地理	文学博士、戦国史研究者。 早稲田大学卒業、早稲田大学大学院博士 課程修了。 元日本大学大学院非常勤講師。 NHK大河ドラマ「風林火山」の時代考証 を担当。、『山梨県人物・人材リスト 2023』) 1992年「戦国大名武田氏の支配構 造」で第16回野口賞受賞。、『山梨日日 新聞』)	『戦国大名領の研究』(名著出版、 1981) 『戦国大名武田氏の領の支配構造』(名著 出版、1991) 『戦国期武田氏領の展開』(岩田書院、 2001) 『武田信玄合戦録』(角川学芸出版、 2006) 『戦国期武田氏領の形成』(校倉書房、 2007) 『戦国期武田氏領の地域支配』(岩田書 院、2013) 『戦国期武田氏領の研究-軍役・諸役・ 文書』(勉誠出版、2019) 『戦国期武田氏領研究の再検討』(岩田 書院、2021) 『戦国期武田氏領研究の再検討補遺』 (岩田書院、2022)	『山梨日日新聞』(1992.7.1、39面、顔写 真あり) 『戦国期武田氏領研究の再検討』(岩田 書院、2021、奥付) 『戦国期武田氏領研究の再検討補遺』 (岩田書院、2022、奥付) 『山梨日日新聞』(2022.7.6、27面、顔写 真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p223)	2024/11/25	竜王
シマズ コウキ 嶋津 幸樹	男	1989 	敷島町	甲斐市	『山梨日日新聞』	言語	1989年敷島町生まれ。 2006年山梨学院高校在学中に自宅に 英語塾を立ち上げる。 青山学院大学在学中に山梨・神奈川県 で3校の英語塾を開く。 ロンドン大教育研究所応用言語学修士 課程修了。 グローバル教育事業を手掛けるタクトピ ア(東京)所属。 2017年ピアソン英語教育ティーチャー ・アワード受賞。 2020年度山梨県立大学非常勤講師。	『PASSPORT150の英語語源単語帳』 (市田印刷出版、2010) 『アジアNO.1英語教師の超勉強法』 (DHC、2020)	『山梨日日新聞』 (2017.4.7、13面、2020.7.15、10面顔写 真あり)	2024/11/28	敷島
シマダ タケシ 嶋田 武	男	1905 不明	甲府市	甲府市	『甲府盆地の四季』	自然科学・ 医学 文学	甲府中学、甲府一高・甲府二高の教諭 として生物学を教える。 1963年、甲府二高の教頭を最後に定年 退職。 (『甲府盆地の四季』)	『甲府盆地の四季』(山梨日日新聞社、 1982) 『旅ゆけば』(山梨ふるさと文庫、1987) 『甲州歳時記』(柳正堂出版、1977) 『追想山岡伊作』(山岡正夫、1988) 『盆地礼讃』(朋文堂、1955) 『甲府空襲の記録』(甲府市、1983、 P203~206、「暁の寒さ」掲載)	『甲府盆地の四季』(山梨日日新聞社、 1982、奥付) 『旅ゆけば』(山梨ふるさと文庫、1987、 奥付)	2024/9/20	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
シミス キンイチ 清水 金一	男	1912 1966	白木町	甲府市	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	芸術・ス ポーツ	喜劇王。 エノケン、ロッパに肩を並べ「シミキン」 の愛称で呼ばれる。 1942年、「新生喜劇座」を結成。 「シミキンの拳闘王」「シミキンの無敵競 輪王」など主演映画多数。 (『山梨百科事典』) 本名、清水武雄。浅草の人気俳優。浅 草オペラ末期に劇界に入り、新興の小 劇場レビューで水を得た。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)		『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、 1992、p221) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p462) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p531)	2024/9/20	甲府
シミス クニアキ 清水 国明	男	1950 1956	福井県	福井県	『森のチカラ、生きるチカラ』	歴史・地理 芸術・ス ポーツ	京都産業大学法学部卒業。 テレビ・ラジオの司会やコメンテーター、 アウトドアライフネットワーク「自然暮らし の会」代表、「河口湖自然学校」取締役 役。 富士河口湖町特別町民。 (『森のチカラ、生きるチカラ』日東書院、 2005) 山梨学院大学客員教授 (『山梨日日新聞』)	『野ばなしのススメ』(扶桑社、1995) 『清水国明の自然遊び日記』(読売新聞 社、1997) 『遊YOUキッズアドベンチャー』(ベース ボールマガジン社、1999) 『直覚死』(日東書院、2005) 『森のチカラ、生きるチカラ』(日東書院、 2005) 『知識ゼロからの絵手紙入門』(幻冬舎、 2006) ほか	『森のチカラ、生きるチカラ』(日東書院、 2005) 『朝日新聞』(2004.5.9 29面) 『産経新聞』(2004.5.9 26面) 『毎日新聞』(2004.5.9 25面) 『産経新聞』(2004.5.23 27面) 『山梨日日新聞』(2004.6.18、1面) 『山梨日日新聞』2012.4.17、20面、顔写 真あり	2024/12/28	富士河口湖
シミス サンゾウ 清水 三三	男	1880 1956	秋田村	北杜市	『山梨日日新聞』	言語	ハルビン学院教授。 (『甲州人物風土記』) 満州国北満学院院長。 (『山梨日日新聞』)		『甲州人物風土記』(雨宮要七、1973、 p290-296) 『山梨日日新聞』(2001.12.5、11面、写真 あり)	2024/11/1	ながさか
シミス シゲオ 清水 茂夫	男	1913 1999	白根町	南アルプス市	『武田史料集』 『山梨日日新聞』	歴史・地理	山梨大学名誉教授。 山梨県文化財調査委員ほか。 (『山梨日日新聞』)	『武田史料集』(校注新人物往来社、 1967) 『奈良田の方言・甲斐民俗叢書3』(共 編山梨民俗の会、1957) 『甲陽軍鑑の周辺』(『甲斐史学』特集 号、甲斐史学会、1965、p49～p59)(山 梨県立図書館所蔵) ほか	『武田史料集』(清水茂夫校注、新人物 往来社、1967、奥付) 『山梨日日新聞』 (1999.5.30、19面)	2024/10/4	白根
シミス ショウゾウ 清水 昭三	男	1930 1930	韮崎町	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト 2019』	文学	小説家、文芸評論家。 1997年、発起人として山梨文芸協会の 発足に携わり、2003年まで会長を務め た。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『俳風韮崎宿の哀歎』(新読書社、1992) 『芥川龍之介の夢』(原書房、2007) 『生死と無明』(鳥影社、2009)	『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日 外アソシエーツ、2018、p316)	2024/11/13	韮崎
シミス トシキ 清水 利生	男	1985 1985	韮崎市	韮崎市	『スポーツの本番に強くなる！子 どもメントレ』	芸術・ス ポーツ	メンタルトレーナー。 韮崎高校卒業。山梨学院大学を中退し プロフットサル選手としてプレー。引退 後メンタルトレーナーに転身。スポーツ 心理学。	『スポーツの本番に強くなる！子ども メントレ』(東洋館出版社、2021)	『スポーツの本番に強くなる！子どもメ ントレ』(東洋館出版社、2021、奥付)	2025/1/12	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
シミス リンモ 清水 倫茂	男	1864 1936	高根町	北杜市	『清水倫茂(1864-1936)～日本で初めての公害裁判信玄公旗掛松事件に勝訴した人～』(浅川伯孝・巧兄弟資料館2016) 『旗かけ松の本』(長坂町郷土資料館2001)	社会科学	日本初の公害裁判に勝訴した人物。1864年、北巨摩郡甲村に生まれる。甲村村長(現北杜市高根町下黒沢)34歳(株)甲銀行取締役(36歳)北巨摩郡議会議員(39歳)合資会社甲斐銀行取締役(47歳)日野春駅までの道を整備し、桜を植えたりアズマヤを設置。熱血の人と称されていた。(『清水倫茂(1864-1936)』)		『清水倫茂(1864-1936)～日本で初めての公害裁判信玄公旗掛松事件に勝訴した人～』(浅川伯孝・巧兄弟資料館、2016) 『旗かけ松の本』(長坂町郷土資料館、2001) 『高根町 郷土史に輝く人びと』(高根町郷土研究会、2002、p68-83)	2025/1/24	たかね
シムラ タキゾウ 志村 滝三	男	1903 1971	藤井町	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 『山梨「人物」博物館』	歴史・地理	考古学研究者。農業の傍ら、畑などから出土する石鏃、石器、土器を蒐集した。古代文化への興味を持つようになり、自分の畑から大量の遺物を発見、東京帝大の鳥居龍蔵の指導を受け、その発掘地を“坂井遺跡”と名付けた。(『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 北巨摩郡教育委員会の郷土研究部の一員として『先史原始時代調査』発行にあたっている。(『山梨「人物」博物館』)	『坂井』(地方書院、1965)	『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p205) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p174)	2024/11/1	韮崎
シムラ マサヒコ 志村 正彦	男	1980 2009	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2013』	芸術・スポーツ	ミュージシャン。2000年高校の同級生たちとフジファブリックを結成、ボーカルとギターを担当。バンド名は初期メンバーの実家が経営する企業名に由来する。2003年キーボードの金沢ダイスケ、ベースの加藤慎一、2004年ギターの山内総一郎、ドラムスの足立房文が加入。同年アルバム「春盤桜の季節」でメジャーデビュー。2006年足立が脱退し、以後4人で活躍する。2009年12月、29歳で急逝した。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』)	『東京、音楽、ロックンロール完全版』(ロッキング・オン、2011) 『志村正彦全詩集』(ノバルコエンタテインメント、2011)	『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012年、p496～497) 『山梨日日新聞』(2005.6.21、11面、2008.6.11、11面、2013.1.8、11面)	2024/12/27	富士吉田

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
シラハタ シロウ 白旗 史朗	男	1933 2019	廣里村	大月市	一般社団法人白旗史朗保存会 ホームページ 『圏谷のシンフォニー』 『大月人物伝』 『白嶺の金剛夜叉』	芸術・ス ポーツ	国際的山岳写真家。 1951年富士山の写真家・岡田紅陽氏に 師事。 1958年フリーとなる。 1962年山岳写真家として独立宣言。 1977年日本写真協会賞。 1987年山梨県文化功労者表彰。前田 眞文化賞。 1989年「白旗史朗賞・日本山岳写真コ ンテスト」を創設。 1990年野口賞(芸術・文化)受賞。 1992～2018年「大月市秀麗富嶽十二 景」コンテスト審査。 2000年世界初の山岳写真での芸術表 現及び山岳文化貢献に対してキング・ アルバート I 世功労勲章(スイス)。 2002年山梨県政特別功労者表彰。 山岳写真の会「白い峰」会長、日本高山 植物保護協会会長ほか (一般社団法人白旗史朗保存会ホーム ページ、『圏谷のシンフォニー』、『大月 人物伝』、『白嶺の金剛夜叉』)	『山と写真わが青春』(岩波書店、1980) 『白旗史朗の山岳写真テクニック』(山と 渓谷社、1980) 『山の花抒情—白旗史朗写真集』(日本 カメラ社、1986) 『世界の名峰・花巡礼—白旗史朗写真 集』(新日本出版社、1995) 『日本百名山』(朝日新聞社、1998) 『白旗史朗日本と世界の名峰を讃う』 (日本カメラ社、2003) 『白旗史朗の甲斐山歌』(新日本出版 社、2008) 『圏谷のシンフォニー』(山と渓谷社、 2010) 『白旗史朗喰いしん坊日記』(新日本出 版社、2016) ほか	一般社団法人白旗史朗保存会ホーム ページ https://www.shiro- shirahata.net/ (2024/11/26確認) 『圏谷のシンフォニー』(山と渓谷社、 2010、著者紹介欄) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株 式会社、2008、p167～172、顔写真あ り) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p216～217) 『白嶺の金剛夜叉』(井ノ部康之、山と溪 谷社、2020、p326、表紙裏)	2024/11/26	大月
ジングウジ オサム 神宮司 治	男	1980 	御坂町	笛吹市	「レミオロメン公式サイト」	芸術・ス ポーツ	2000年に結成したバンド、「レミオロメ ン」のドラム。 2003年、1stMiniAlbum『フェスタ』でイン ディーズデビュー。レコード店のイン ディーズチャートで上位をマークする。 同年2ndSingle『電話』でメジャーデ ビュー。2005年にリリースされた 8thSingle『粉雪』が大ヒット。 2006年8月、山梨県日本航空学園(甲斐 市)にて史上初の滑走路ライブを開催 し、3万人を動員。 2012年2月活動休止 (レミオロメン公式サイト) 活動休止後はドラムクリニック、ライブサ ポート、更にはドラマーのみならず、オ リープオイルソムリエの資格を取得する など、様々な活動をしている。 (神宮司治OFFICIALSITE)	Single 『粉雪』 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGUM02 005) 『茜空』 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGUM02 007) 『夢の薔』(OORONGRECORDS2009)ほ か Album 『HORIZON』 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGUM02 006) 『風のクロマ』 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGUM02 008) 『レミオベスト』 (OORONGRECORDS2009年)ほか	「レミオロメン公式サイト」 http://www.remioromen.jp/ (2024.10.28 確認) 『テレビ・タレント人名事典』第6版(日外 アソシエーツ、2004、p606) 『HJ』(「ロッキング・オン」2006年9月号、 p12～29) 『レミオロメン物語』(本郷陽二著、汐文 社、2007) 神宮司治OFFICIALSITE http://www.jinguijiosamu.jp/ (2024.10.28確認)	2024/10/28	御坂
シドウキオン 進藤 義遠	男	1947 	甲府市	甲府市	『ATD』	哲学・宗教	1975年甲斐市の日蓮宗妙法山忠安寺 へ入寺。 (『ATD』)	『ブンタリカ』(山梨ふるさと文庫、1987) 『法華経に生かされて』(進藤義遠、 2001) 『ATD』(進藤義遠、2005)	『ATD』(進藤義遠、2005、奥付) 『山梨日日新聞』(2007.2.1、19面、顔写 真あり)	2024/11/25	竜王

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
シンドウ フサエモン 進藤 武左衛門	男	1896 1981	小淵沢村	北杜市	『山梨百科辞典』	産業	水エネルギーの父。東京電灯取締役、関東配電、日本発送電を経て、戦災復興院業務局長、建築局長。その後、日本科学技術連盟理事長、中国電力会長、日本国土開発社長、水資源開発公団総裁を歴任。又、水に関する国際会議の日本代表、海外電力調査会長なども務めた。 (『山梨百科辞典』)	『随意随作』(朝日書院、1965) 『南船北馬』(政経社、1973)	『私の履歴書第25集』 (日本経済新聞社、1965、p121~179) 『山梨百科辞典』 (山梨日日新聞社、1989、p508) 『山梨県人物・人材情報リスト』 (日外アソシエーツ、2003、p204) 『新編甲州財閥物語』 (山梨新報社、2000、p57、219)	2025/1/5	小淵沢
シメン イチコホウ 新免 一五坊	男	1879 1941	岡山市	岡山市	『富士北麓と文人たち』	文学	俳人・教員。本名睦之助。 1898年、根岸の子規庵を訪ね、正岡子規の門人となり、句会や歌会に参加する。1899年、根岸短歌会に出席、日本橋永井医院内に住む。1901年に明見村(現富士吉田市明見)の永嶋医院に居住し、医学を学ぶ。1903年、根岸短歌会機関誌「馬酔木」創刊。1979年自吉田氏に子規「やまめの歌」歌碑除幕。 (『富士北麓と文人たち』)		『富士北麓と文人たち』(ぎょうせい、1986、p146~158)	2024/12/27	富士吉田
スエ トシミツ 末 利光	男	1932 	東京都	東京都	『山梨県人物・人材情報リスト2002』 『コロナに翻弄された家』	図書館・情報 社会科学 芸術・スポーツ 言語 文学	元笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館館長。 元NHKチーフアナウンサー・フリージャーナリスト。 講談師(講談師名:神田甲陽)。 1958年日本放送協会に入局。 1989年講談師二代目神田山陽より真打を許され神田甲陽を名乗る。 1991年チーフアナウンサーを退職して、退職金だけで賄えるクリーン選挙を掲げて甲府市長選に出馬するが落選。その後フリージャーナリストとして活動。 1995年笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館館長就任、13年間務める。 2003年10月の一か月間ウィーン大学にて「日本語と日本文化」を講ず。 (『山梨県人物・人材情報リスト2002』『コロナに翻弄された家』)	『ことばのおへそ』(三省堂、1982) 『「クリーン選挙」わたしの闘い』(講談社、1992、山梨県立図書館所蔵) 『小川正子の生涯』(神田甲陽著、春日居町教育委員会、2000) 『ハンセン病報道は真実を伝え得たか』(JLM、2004) 『コロナに翻弄された家』(毎日新聞出版、2021、石和図書館所蔵) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2002』(日外アソシエーツ、2002、p191) 『21世紀—山梨の100人』(山梨新報社、2002、p70~71)	2024/11/14	春日居
スガタシュン 菅田 俊	男	1955 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	俳優。東京経済大学卒業後、1982年「制覇」などに端役で出演。同年劇団状況劇場に入り、その後唐十郎と唐組を結成。2003年トム・クルーズ製作・主演のハリウッド映画「ラスト・サムライ」で好演し、注目を集める。2005年日米合作時代劇「SAKURA-BlueEyedSamurai」で主人公の浪人に抜擢されるなど国際派俳優として活躍。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p525~526) 『山梨日日新聞』(2004.2.29、5面、2008.3.18、12面、2009.7.1、39面)	2024/12/27	富士吉田

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
スキウラ ケンソウ 杉浦 健造	男	1866 1933	西条村	昭和町	『山梨百科事典』	自然科学・ 医学	地方病(日本住血吸虫病)研究の先駆者 山梨における地方病予防撲滅計画樹立の基礎を作った。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典増補改訂版』(山梨日日新聞社、1989、p418) 『杉浦健造先生頌徳誌』(杉浦先生形像建設委員会、1934) 『地方病とのたたかい』(山梨地方病撲滅協会、1977、p120) 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p480) 『わたしたちのまちしようわ』(昭和町社会科副読本編集委員会著、昭和町教育委員会、2012、p87) 『ランデブー13』(株式会社コミヤマ工業、2002、p14~23) 『郷土史にかがやく人々第7集』(青少年のための山梨県民会議、1974、P53~75、顔写真あり) 『昭和いきいきガイドブック昭和町昭和 水源と地方病コース編』(昭和町教育委員会生涯学習課、2008、p10、p14~p19) 『角川日本姓氏歴史人物大辞典19山梨県』(山梨県姓氏歴史人物大辞典編集委員会著、角川書店、1990、p307) 『地方病を語り継ごう流行終息宣言から25年』(昭和町風土伝承館杉浦醫院、2022) 山梨県昭和町風土伝承館杉浦醫院のホームページ http://www.sugiura-iin.com/ (2024/9/14確認)	2024/9/14	昭和
スキウラ サプロウ 杉浦 三郎	男	1895 1977	西条村	昭和町	『山梨百科事典』	自然科学・ 医学	地方病(日本住血吸虫病)を研究、医学博士の学位を得て地方病の予防撲滅の研究を重ね、20種類以上に上る成果を発表し学界に貢献した。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典増補改訂版』(山梨日日新聞社、1989、p418) 『地方病とのたたかい』(山梨地方病撲滅協会、1977、p121) 『地方病とのたたかい』(山梨地方病撲滅協会、2003、p79p80) 『わたしたちのまちしようわ』(昭和町社会科副読本編集委員会著、昭和町教育委員会、2012年、p87) 『ランデブー13』(株式会社コミヤマ工業、2002、p14~23) 『昭和いきいきガイドブック昭和町昭和 水源と地方病コース編』(昭和町教育委員会生涯学習課、2008年、p10、p20~p23) 『地方病を語り継ごう流行終息宣言から25年』(昭和町風土伝承館杉浦醫院、2022) 山梨県昭和町風土伝承館杉浦醫院のホームページ http://www.sugiura-iin.com/ (2024/9/14確認)	2024/9/14	昭和

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
スキヤマ アキラ 杉山 亮	男	1954 -	東京都	東京都	『子どもにもらった愉快的時間』	文学	1976年、都の公立保育園の第一号男性保育者として、83年まで各地の保育園・幼稚園に勤務。その後、おもちゃ作家として「おもちゃいろいろ・なぞなぞ工房」を主宰し、現在は山梨県北杜市の高原で児童書の執筆およびストーリーテラーとして活動中。 (『子どもにもらった愉快的時間』) 『空を飛んだボチ杉山亮のものがたりライブ』(講談社)第56回産経児童出版文化賞(ニッポン放送賞) (『かっぱ』)	『もしかしたら名探偵』(偕成社、1992) 『青空晴之助』(フレーベル館、1998) 『怪盗シヨコラ』(あかね書房、2001) 『朝の連続小説2』(仮説社、2007) 『おくれた名探偵』(偕成社、2024) 『空を飛んだボチ』(講談社、2008) 『うみぼうず』(ポプラ社、2011) 『かっぱ』(ポプラ社、2011) 『子どもにもらった愉快的時間(新版)』(晶文社、2012) ほか多数	『子どもにもらった愉快的時間』 (晶文社、2012、表紙裏、顔写真あり) 杉山亮のホームページ 「杉山亮のなぞなぞ工房」 https://sugiyama-akira.jp (2024.9.16確認) 杉山亮公式X https://x.com/nqaOAaBRPIMvwlK (2024.9.16確認)	2025/1/5	小淵沢
スキヤマ ユキオ 杉山 幸男	男	1888 1949	小笠原町	南アルプス市	『韭崎市誌』	社会科学 産業	1898年、韭崎杉山家の養子となる。横浜に行きドイツ薬学を研究中、先代の死去に会い、家督を相続。杉山家は舟山河岸にあって、富士川水運による物資の運搬を業としていた。韭崎町商工会を創立、会長に推された。のち韭崎町長に就任、韭崎市建設への基礎を作った。塩川橋・船山橋の架橋に尽力した。 (『韭崎市誌』)		『韭崎市誌・下巻』(韭崎市、1979、p429)	2024/11/1	韭崎
スズキ セイン 鈴木 青処	男	1908 1983	大草村	韭崎市	『山梨の作家2』	文学	俳人。 山梨県と長野県在住の「ホトギス」系俳人による、高浜虚子の指導を仰ぐ「笛吹会」結成(1945年)当初からの一員。山口青邨の主宰する「夏草」「俳句研究」へも投句を行う。 1948年、「俳句研究」7・8号の青邨選の雑詠欄には2句が巻頭に選ばれる。 1931年、私家版の句集『笛譜』を刊行。 1960年、「山楳会」に参加。「夏草」山梨支部長も勤める。 (『山梨の作家2』)		『山梨の作家2』(山梨ふるさと文庫、1995、p265～270)	2024/11/1	韭崎
スズキ カシ 鈴木 孝	男	1897 1980	金生村	笛吹市	『鈴木孝歌集』 『山梨の作家2』	文学	歌人。 1925年甲府中で英語教師。 1948年国民文学第一同人となる。 1949年第二回山梨県文学賞受賞。 1954年短歌雑誌「樹海」主宰。 (『鈴木孝歌集』『山梨の作家2』)	『寒燈』(国民文学者、1949) 『丘のある街』(甲陽書房、1966) 『鈴木孝歌集』(新星書房、1981) 『現代短歌』(樹海社、1987)	『鈴木孝詩集』(新星書房、1981、p289-292) 『山梨の作家2』(山梨ふるさと文庫、1995、p181～p186)	2024/11/24	山梨

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
スズキ トミナル 鈴木 富治	男	1906 1988	身延町	身延町	『芽吹き』 『峡南の郷土』	歴史・地理 社会科学	1926年、山梨県師範学校卒業。 小学校教員。校長職16年。 民俗資料館館長、身延町誌編集委員などを歴任。 1979年、勲五等叙勲。 峡南郷土研究会理事、日本民俗学会会員。 1981年、ことぶきマスター認定。 1982年、身延町に630冊の蔵書を寄贈。 排号は牛久保耕子。 (『芽吹き』『峡南の郷土』)	『身延町誌』(身延町役場、1970、p577～579他) 句集『芽吹き』(牛久保耕子、1983) 『民話・小僧泣かせの鬼婆』(『峡南の郷土』第6集、峡南郷土研究会) 『甲州漆について』(『峡南の郷土』第6集～第28集、峡南郷土研究会、1971年1月号～1988年3月号まで毎月論文掲載)	句集『芽吹き』(牛久保耕子、1983、あとがき) 『民話・小僧泣かせの鬼婆』(『峡南の郷土』第29号(『峡南郷土研究会、1989年3月号、追悼記事p32、33、51、52)	2024/11/30	身延
スズキ マサミ 鈴木 正文	男	1899 1978	旭町	韮崎市	『韮崎の礎を築いた偉人たち・第2巻』	社会科学	政治家。 1925年、朝日新聞大阪本社社会部の記者になり、その後名古屋支局で新聞記者として活躍。 大阪の本社に戻った後、1936年、海外特派員として中国京城支局長に就任。 1940年、帰国後論説委員となり『天声人語』を執筆。戦後は衆議院議員も務め、労働大臣も務める。 (『韮崎の礎を築いた偉人たち・第2巻』)	『韮崎の礎を築いた偉人たち第2巻』(『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p14) 『平成・昭和に活躍する山梨県人』(かいじしんぶん、1998、p39)	2024/11/1	韮崎	
スズキ ユウ 鈴木 ユウ	男	1973 	甲府市	甲府市	『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト2023』	芸術・スポーツ	本名・鈴木裕樹。現在中野区に在住。 2010年にデビュー。 2007年、第52回ちばてつや賞準入賞。 2010年、第57回ちばてつや賞入賞。 2012年より、「モーニング」(講談社)にて、「コウノドリ」連載開始。 2015年、「コウノドリ」テレビドラマ化。 2016年、第40回講談社漫画賞。 2016年3月より甲府大使。 (『山梨日日新聞』) 2020年9月「コウノドリ」全32巻完結。 週刊モーニングで「コウノドリ～新型コロナウイルス編」週刊文春で司馬遼太郎原作「竜馬がゆく」を連載。2024年8月9巻発行(X)	『コウノドリ』(講談社)全32巻 『コウノドリ命がうまれる現場から』(原作・イラスト、講談社、2017) 『竜馬がゆく』(司馬遼太郎/原作、文藝春秋、2022)	『山梨日日新聞』(2013.10.31、1面顔写真あり、2014.7.31、35面顔写真あり、2016.3.31、25面顔写真あり、2015.10.21、18面顔写真あり、2023.1.1、72面顔写真あり) 『鈴木ユウ』 https://x.com/suzunokiyou (2024.9.20確認) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2023、p425) 『甲府大使 鈴木ユウ』(甲府市HP) https://www.city.kofu.yamanashi.jp/koho/citypro/kofutaisi.html (2024.9.20確認)	2024/9/20	甲府
スミザー ホール ポール・スミザー	男	1970 	イギリス	イギリス	『ポール・スミザーのハケ岳の庭12カ月』 『ポール・スミザーの剪定読本』	産業	ランドスケープデザイナー、ホーティカルチャリスト(園芸家)。イギリス・パークシャー州生まれ。1997年、有限会社ガーデンルームスを設立。2000年、第1回東京ガーデニングショーのプレゼンテーションガーデン部門で「RHSプレミアアワード(最優秀賞)」を受賞。2009年よりハケ岳南麓に拠点を移す。 2009年軽井沢本の森美術館内に「ピクチャーレスク・ガーデン」を設計、2012年清里高原「萌木の村」の庭づくりを始める。北社市大泉町在住。 (『ポール・スミザーのハケ岳の庭12カ月』) 『ポール・スミザーの剪定読本』	『ポール・スミザーのハケ岳の庭12カ月』(宝島社、2016) 『ポール・スミザーの剪定読本』(講談社、2016) 『気持ちさがスーッとラクになる生きるヒント』(主婦と生活社、2014) 『ポール・スミザーの「これからの庭』』(主婦の友社、2021) 『ジェムくん故郷にカエル』(ガーデンルームス、2022) 『ナチュラル ガーデン ウォーク春～初夏』(ガーデンルームス、2023)	『ポール・スミザーのハケ岳の庭12カ月』(宝島社、2016) 『自然にきく庭づくり』(婦人之友、2016.9p63～77) 『ポール・スミザーのTimeForARamble』(山梨日日新聞、2016.4.9～2018.3.10) https://www.gardenrooms.jp/ (2024.10.1確認) https://naturalgardens-moegi.jp/ (2024.10.1確認)	2024/10/1	金田一

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ソネサキ ヤスタロウ 曾根崎 保太郎	男	1914 1997	祝村	甲州市	『山梨の文学』	文学	農業。 本名、鈴木保。 1914年勝沼町下岩崎に生まれる。 1931年県立日川中学校卒業。 日本現代詩人会会員。 (『山梨の文学』『ぶどうの四季』)	『戦場通信』(鈴木保、1940) 『灰色の体質』(甲府派発行所、1954) 『ぶどうの四季』(甲陽書房、1983) 『曾根崎保太郎詩集』(宝文館出版、1977)	『ぶどうの四季』(甲陽書房、1983) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p269～271)	2024/10/31	勝沼
ソリタ ミツル 返田 満	男	1928 2008	黒駒村	笛吹市	『シュンランの咲く日まで』 『返田満詩集』	文学	詩人。 石和高校卒業。 元東京電力社員。 旧竜王町議会議員。 日本現代詩人会会員。 (『シュンランの咲く日まで』) 1996年、『盆地の空』で壺井繁治賞受賞。 (「山梨日日新聞」)	『返田満詩集』(宝文館出版、1976) 『シュンランの咲く日まで』(詩人会出版、1998)	『返田満詩集』(宝文館出版、1976、p148～p153、奥付) 『シュンランの咲く日まで』(詩人会出版、1998、奥付) 「山梨日日新聞」(2008.6.25、17面)	2024/11/25	竜王